

世帯と人口

(平成4年8月1日)
 世帯 37,210 (+109)
 人口 109,280人 (+168)
 男 56,373 女 52,907

えびな 広報

編集・発行
 海老名市役所広報広聴課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬175
 ☎ (0462) 31・2111

月1回ずつの「缶と紙と布の日」「びんの日」が...

月2回の「缶とびんの日」と
 月2回の「紙と布の日」に!

10月1日から缶とびんは
 別々の袋に入れて出して



昨年度は資源3000^トを回収



缶はごみ集積所の左側、びんは右側へ!



10月1日から
 資源の日とごみの日
 が変わります

資源回収をさらに推進

市では、みなさんのご要望にこたえ、毎月2回の「資源回収の日」を十月一日から毎月四回に増やします。と同時に、資源をより出しやすく、より効率よく回収するために、今までの「缶と紙と布の日」と「びんの日」を「缶とびんの日」と「紙と布の日」に改めます。より多くの資源を回収し再利用するため、今後も市民のみなさんのご協力をお願いします。

ごみ減量にご協力を

去年四月からスタートした「資源回収事業」も、一年以上経過しました。この間、市民のみなさんのご協力を得て、平成三年度には約三千トもの資源を回収することができました。しかし、一方でみなさんからいろいろなお意見をいただきました。その中で特に多かったのが「資源回収の回数を増やして」という要望でした。

市では、みなさんのご意見をもとに数々の調査、研究を重ねた結果、十月一日から回収回数を増やし、回収日別の品目を変更することにしました。

この変更は、みなさんが資源をごみ集積所へ出すときの利便性や、資源の回収効率などを考慮したもので、現在の「缶と紙と布の日」と「びんの日」を、十月一日からは「缶とびんの日」と「紙と布の日」に分けて、回収回数をそれぞれ毎月一回ずつにしました。

また、資源の回収日が増えることに伴い、「燃えないごみ」の収集日が変わりますが「燃えないごみ」の収集回数は今までとおおり毎月一回です。

この「資源回収事業」は、ごみの減量化と処理経費の節約、地球資源の保護とエネルギーの節約などを目的としています。この事業にはみなさんのご協力が欠かせませんので、これからますますお願いいたします。

☆「缶」と「びん」は分けて出して

十月から始まる「缶とびんの日」には、缶とびんは必ず別々の袋に分けてごみ集積所に出してください。一緒に袋で出されてはだめです。一緒に袋で出されてはだめです。一緒に袋で出されてはだめです。

また、回収効率が上がるため、できるだけ缶はごみ集積所の左側、びんはごみ集積所の右側に置くようお願いいたします。

なお、十月一日からの「資源分別回収日程カレンダー」は九月中旬、各家庭に配布します。

10月からの一般ごみ収集日と資源の回収日

地区	種類	一般ごみの収集日		資源の回収日	
		燃えるごみの日	燃えないごみの日	缶とびんの日	紙と布の日
国分北	今泉	月・水・金	第1・第3 木	第1・第3 火	第2・第4 火
中央・国分南	柏ヶ谷	月・水・金	第2・第4 木	第1・第3 火	第2・第4 火
河上	原郷	火・木・土	第1・第3 金	第1・第3 水	第2・第4 水
中	新田	火・木・土	第2・第4 金	第1・第3 水	第2・第4 水
大谷	分谷	月・水・金	第1・第3 火	第1・第3 木	第2・第4 木
東柏ヶ谷	地	月・水・金	第2・第4 火	第1・第3 木	第2・第4 木
社	家里	火・木・土	第1・第3 水	第1・第3 金	第2・第4 金
中河内・中野	上河内	火・木・土	第2・第4 水	第1・第3 金	第2・第4 金

※祝祭日は資源の回収とごみの収集は行いません。

ふるさと実感 真



友好都市白石も初参加
温麺やこけしなど展示・即売

今回のふるさとまつりに、去年十一月に友好都市を締結した宮城県白石(しろし)市も初参加し、名産品の展示、即売を行った。

同コーナーでは白石地木工の販売や、伝統工芸弥治郎こけしの展示、佐藤辰雄さんによる口クロを使ったこけし製作の実演も行われた。また、白石の「はぐれだま」というお母さんがこけしに顔や模様を付け、大盛況だった。



▲白木のこけしに思いの絵を書く子供たち



▲まつりの最後を飾る花火

の閉幕直前、わがまちを走らせた夏の一大イベントが行われた。台風通過で心配された天気も、まつりの始まるころには見事に晴れ上がった。涼しくなるにつれて波も穏やかになり、最高潮に盛り上がりつつあった。みずしを担ぐ一心不乱の顔、おはやしをたく真剣な顔、見る者も吸い込まれてゆく、これがまつりの一番の美しさだが、今年はほかにも驚きがあった。カラオケ大会は誰が出場するかと、半分やじ馬的な気持ちで見守っていた。参加者十四人の中で

昔懐かしい竹馬、ケン玉、ベロ、竹馬を供に一緒に作ったりする昔遊びは、お父さんの姿に接し、とても良い雰囲気だった。今日のようないぬもりが、非行に走る歯止めになってくれるのではないだろうか。

最後を飾る花火、口では言い表せない感動だ。まつりが終わる数々の思いを残して、また来年もこの地で会おう。見守るだけでなく参加するともっとおもしろい。人とのふれあいを大切にしたい。



▲大谷中バト

会場々新旧が交流

大きなムミンのフアアやまつりはやしが人々を会場に誘い、消防署のはし車が台風十号を追い払うかのよう、子供たちを乗せて大高く遊ばす。当初、天候が心配された「ふるさとまつり」が八月八日、九日に堂々と、そして華やかに開催された。会場は熱気にあふれ、子供たちは喜び、大人たちはまつりの雰囲気を楽しんでくれた。ミニバス、立派な車などの子供の遊び場がある。失敗しても何回もトライしている竹馬コーナー、「腰の使い方」を父が子にコーチする「玉ころ」

フリーマーケットに五千入

市役所催事広場で



▼発泡スチロールのリサイクルを実演

八月七日(金)午後六時、市役所西側催事広場でフリーマーケットが開かれた。同マーケットは、限りある資源を有効に生かそうと「地球に優しい行動推進会議(阿部忠視会長、5団体)が主催して、ふるさとまつりの前夜に行ったもので九十店、約二百人が出品し、約五千人の来場者でにぎわった。

出店者は、家庭で不用となった書籍、衣類、食器などの日用品を持ち寄り思い思いの値段をつけて販売。中には開始後三十分で完売してしまう、販売上手な人たちも。

「フリーマーケットは広報を見て参加しました。品物は押し入れにしまっていたタオルなどを出品しましたが、すぐに完売、みなさんに喜ばれて良かったです。来年もぜひ参加したいです」とある出店者は話してくれました。

「物見遊山で会場を訪れたら、ワープが二千円で売られていたんです。ちょっとほしかったので思わぬ買い物ができました」とある来場者の声。

また、会場では不用となった発泡スチロールを溶かし、再利用できる形状に作り直す機械も登場。家の中に放つてある不用品も、生かそうと思えばいくらでも再利用できるんです」という感想を残し、両手いっぱい買い物を抱え会場を後にする人が目立った。



▲何を買おうか迷ってしまう!

「何を買おうか迷ってしまう!」

夏の祭典

2日間で16万人が来場

八月八日、九日の両日、市役所庁舎周辺で「第十七回えびなふるさとまつり」が行われました。天候も心配されていましたが、二日間で延べ十六万人の市民が会場を訪れ、はつし、みこし、各種模擬店や盆踊り、花火大会などで楽しみました。今回は、その様子を広報モニター「玉置礼子さん、斎藤俊彦さん」の二人に取材していただきます。



▲盆踊り 輪になって踊り日ごろの成果披露



▲みこしの登場でまつりは最高潮



▲はやしの競演、太鼓をたく姿も真剣



▲はしご車に乗るとまつり会場が一望

新任の英語講師が来日

ミネソタ州出身のガナス・カイアさん
 市では、中学校の英語教育の充実を図るため、平成5年度から、中学校に指導助手として派遣していましたが、この度アメリカからガナス・カイアさん(ミネソタ州ウエストコンコード市出身、22歳)が六人目の講師として来日しました。



亀井教育長と打ち合わせをするガナスさん

神奈川フィル演奏会

11月7日(土) 市文化会館

優れた芸術を身近な交響楽鑑賞できる「と」を始め、神奈川芸術祭巡回事業が、今年度は海老名市で実施されます。入場は無料です。

▽日時 十一月七日(土)午後二時半開演(2時開演)▽会場 市文化会館(2階)▽指揮者 栗田博文(神奈川県フィル指揮者)▽ソリスト 横川晴児(日交交響楽団首席クラリネット奏者)

屋内プールで 壮年水泳教室

▽管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団▽演奏曲目 ロッシーニ「歌劇「セビリア」の序曲」▽指揮者 栗田博文(神奈川県フィル指揮者)▽ソリスト 横川晴児(日交交響楽団首席クラリネット奏者)

平和講演会 「小さな小さな平和」

ハナ肇さん 講師に迎え



ハナ肇さん 講師に迎え

タレントのハナ肇さんを迎えて次のとおり平和講演会を開催します。入場は無料です。

▽日時 十一月二日(月)午後一時半(1時開演)▽場所 市文化会館(1階)▽対象 小学生以上と在勤者▽申し込み方法 ①往復ハガキに住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入し、海老名市企画課「平和」係へ送付(内封)。

ふるつてご参加を

卓球教室とスポーツのついで

▽卓球教室
 ◎日時 十月九日・十一月十一日、毎週金曜日、全十回、午後一時三時
 ◎会場 同センター
 ◎対象 初心者、初級者五十人

▽卓球教室とスポーツのついで
 ◎日時 十月十八日(日)午前九時~午後四時

▽運動広場 障害者中心のソフトボール、フットベースボール(同センター)周辺、探検ウォークラリー(約3キロ)と約7.2キロコース、事前申し込み。当日も受付。③お申し込みは、運動広場(体育館)へ。④お問い合わせは、市企画課「平和」係(内封)。

女子初心者対象のテニス大会を開催
 市テニス協会では、女子初心者ダブルストーナメント大会を次のとおり開催します。

▽日時 十月十四日(水)、十五日(木)、十六日(金)、午前九時~午後五時
 ◎会場 運動公園陸球場(6面使用)▽試合方法 午前、午後の部に分け、四チームのリーグ戦を行う。募集人員 四十八組(96人)▽参加資格 市内在住者で海老名市や他市のオープン戦に参加したことがない人▽参加費 一組千円▽申し込み 中央2-7-15 海老名郵便局私書箱9号へ。九月十七日(日)までお問い合わせは、市企画課「平和」係(内封)。(32・780)

スコアブック
 ◎市総体テニス大会(ダブルス)結果
 ○一般男子ダブルス 竹内・村上セロックス▽二位 鈴木・久保田(RYU)▽三位 山口・中家(セロックス)○女子ダブルス 加藤・秋山(エリサス)▽二位 椎名(F・E・T・C)▽三位 杉山・小泉・湯原(F・T・C)

この写真は、昭和十六年に小田急線海老名国分駅で出征兵士を見送っている風景です。出征兵士を送り出す度に親類や青年団、婦人会などの人たちが近所の神社を折り、兵士を先頭にして、旗を持ち軍隊を隊いながら、海老名国分駅は、赤生神社参道入口の反対側にあり、当時、新橋までの運賃は八十銭、一日の平均乗降人員は、わずか約七百人でした(現在の海老名駅は約十三万五千人)。昭和十八年、現在の相模鉄道と連絡する「海老名駅」が開設され、海老名国分駅は廃止されました。

8月の価格情報

品目	単位	大型店		中小店	
		平均価格	最高価格	平均価格	最高価格
しょう油	パック1L	265(▲20)	248	292(▲6)	298
みそ	袋入1kg	366(▲32)	398	361(▲1)	398
砂糖	f11kg	226(▲7)	—	233(▲11)	238
マーガリン	パック225g	209(▲6)	198	194(▲8)	198
サラダ油	ポリ700g	338(▲5)	—	389(▲31)	—
マヨネーズ	ポリ500g	320(▲2)	348	327(▲11)	348
小麦粉	薄力粉1kg	177(▲0)	194	196(▲6)	198
牛乳	パック1L	197(▲4)	188	200(▲5)	—
鶏卵	M10個入	144(▲43)	138	146(▲42)	158
豚肉	もも肉100g	171(▲20)	—	159(▲3)	168
無リン合成洗剤	箱入1.5kg	747(▲5)	830	723(▲24)	830
粉石鹼	袋入3kg	767(▲50)	798	720(▲80)	—
灯油	配達18L	—(—)	—	914(▲65)	900

* 価格は、海老名市消費生活モニター30人の協力を得て、月初めに調査した通常平均価格です。(▲)内は前年同月比で▲印は、安。

海老名タイムトンネル 写真が語る郷土の歴史

出征兵士の見送り



海老名国分駅より出征する故市川治義氏(大谷の市川洋一氏所蔵)

このコーナーでは、市内に残る古い写真を紹介します。風景や民俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は、市史編さん室(内291)へご連絡を。

海老名国分駅

現在では駅の面影はほとんどない。左手の草むらがり線ホーム跡

不思議な絵に熱中

絵画教室でマーブリング



水面の油絵の具を掃で動かすとさまざまな模様が...

公民館だより

「つわいっ、すこい!」こんな模倣、描くと思つたつて描けないよ!」と歌声をあげるのは、子供絵画教室でマーブリングの技法を学んだ三人の児童たち。この絵画教室は、七月二十九日から三日間、今泉中学校

の大槻幸広教諭を講師に迎え、中央公民館で行われました。マーブリングとは、糊の入り込んだ水に油絵の具をのり、クシや棒を使って水面の絵の具をさまざまな形に変えて、それを画用紙に写し取る、というものです。

写し取った色や形(模様)は、筆を使って描く絵画とはひと味もふた味も違うためか、児童たちはマーブリングをすっかり気に入ったようで、次々と不思議な絵、を制作、日を追うごとに上達していきました。

特に友達の作品を見ては、「すば、今度はほんまふうにつくつてみよ!」と目を輝かせ、わくわくしながらマーブリングの順番を待つ児童が多かったのが印象的でした。

最終日には、属中見舞のハガキに「お元気?」の文字をマーブリングで描くほどの技巧も増えていました。講座の最後には、各自が一番気に入った作品の発表を行いました。この作品は甲乙を比べることができません。き上がった後も、作者のセリフを通して別の角度から、より良い方向にスタートと前進のいくまで変えることができるといいます。

一回の公演は、約一時間半、四日間程度で今までの十本のオリジナル作品を発表している。

紅の豚



宮崎駿監督作品
 1990年代の末、かつて空軍のパイロットだった男が迫りくる戦争の前に、再び「国家の英雄」になるのを嫌ひ、自ら魔法をかけてブタに変身。そして、空から客船を襲う「空賊」。退治の賞金稼ぎとして活躍。そんな彼を人は「紅の豚」と呼んだ。愛とロマンあふれる航空活劇アニメ。

7月29日(日)、三十日の両日、市総合福祉会館と県立海老名青少年会館で、子供映画劇場が開かれ、アニメーションとふしぎなラン(2)が上映されました。

上の子供たちが会場に集まり、アラジンやランプの精の活躍に夢中になっていました。このアニメは、子供たちの空想力を育て、希望と勇気の尊さを知らせてくれると上映されたのですが、子供たちはアニメ独特の映像表現に魅了されたようでした。

近く渋谷で新作上演

小さい頃からテレビっ子で、特にアニメやドラマが大好きだった。大学時代に、一時期演劇から離れたが、ふと立ち寄った公演会場の熱気に惹かれ、六年前に劇団を小劇場を中心に活動する。劇団「つちのこカンパニー」を主宰し、脚本も手掛ける。

井上優さん(25歳)は、厚木高校演劇部に在籍、同校の卒業生として、劇団「つちのこカンパニー」を結成、主宰として活躍している。

「単に文章を書くだけなら、小説でもいいが、脚本は一度書き上げると、作者のセリフを通して別の角度から、より良い方向にスタートと前進のいくまで変えることができる」といいます。

「ハット」と人目を引くだけでなく、ほのぼのとした地味でも、奥深い作品を作りたい。劇団活動を通じて、地方の公民館などに回り、地元の人と一体となった公演をしていきたい」と話す井上さんは、現在九月十一日から渋谷で発表する新作「つちのこカンパニー」の公演に向けて練習中。公演の問い合わせは、044-277-1101へ。明治大学大学院在籍中。

同年齢の子供たちが集まり、絵本などを愛しむ「母と子のおはなし」に参加。

心豊かな子供を育てるために、母が直接子供に語りかける。楽しいお話を読んで聞かせることが大切です。市図書館では「子供と絵本を愛する」を

おはなしに親しもう

市図書館(31・5152)

巡回おはなし会

市図書館から遠い地域のお友達にもお話の世界の楽しさを知ってもらうため、巡回おはなし会を開きます。お友達をさそって参加を。絵本の読み聞かせに関するお母さんも一緒に参加を。

読み聞かせと語り

心豊かな子供を育てるために、母が直接子供に語りかける。楽しいお話を読んで聞かせることが大切です。市図書館では「子供と絵本を愛する」を

フォトピックス

親子で深夜の散策

ウォークラリーに30人
懐中電灯と地図を頼りに探



小雨の中、市役所を出発する参加者

夜、市内十二のコースを回る「親子ナイトウォークラリー大会」が、八月一日に行われた。子供は決断力や忍耐力を養い、同時に親子のふれあいを深めようと開かれ今年で八回目。九十四組、約三百三十人が参加した。出発地点の市役所に集まった参加者は、四コースに分かれて午前零時に出発。途中のチェックポイントで問題を解きながら、小雨の降る中、午前五時には全員が市役所にゴール。参加者からは「久しぶりに親子で共同作業ができた」の声が、

「うちわ」作りも人気

蚕のサマースクール
蚕について学びながら親子の会話を深めよう――と八月五日と六日の二日間、県立センターで、サマースクールが開かれ、親子連れなど約二千三百人の参加者でにぎわった。同スクールは、毎年夏休みに開かれており今年で第二一回目。映画「カイコ



織から「うちわ」を作る子供たち

や絹製品の展示のほか、真綿作り、繭人形作りなどの体験コーナーも開設された。また、今年からは調子こける真綿を使った「うちわ作り」も初めて行われ、うちわを完成させた子供たちからは、「さつこくお父さんに使ってもらおう」との声も聞かれ、楽しく有意義な夏休みのひとときを過ごしていた。

「バラ」早く咲いて

小学生40人が体験農業
八月四日、五日の両日、体験農業農家宿泊研修が行われ、市内の小中学校六年生四十人が二人一組で、十軒の農家に泊まり込み、農作業を行った。



農作業も楽しい思い出

少年野球で親善

白石、海老名の計40人が

八月一日、コカ・コーラクラブで、宮城県白石(しらい)市の少年野球チームから選ばれた児童二十人と、海老名市選抜少年野球チーム二十人による初の交流試合が行われた。この試合は、友好都市を提携している白石市との交流をさらに深めようと企画されたもの。同市の少年たちは前日に海老名を訪れ、市総合福祉会館で対戦

相手の少年たちと懇談、その後少年野球連盟会員宅へホームステイをした。試合当日は、それぞれ二チームに分かれ一試合ずつ行ったが、第一試合は七対五で白石が、第二試合では七対四で海老名が勝ち、仲良く引き分けた。なお、十月には海老名の野球少年が白石市を訪ねる。



熱戦を展開する両市チーム

海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
8月18日～9月2日 第120話 のぞき小僧
9月3日～9月17日 第121話 笑う間魔様

海老名むかしむかし

第285話

相模川の大水 その3 正に前代未聞 安政の大洪水

安政六年(一八五九年)七月のころであった。晴々として降り止まない霖雨が遠い甲斐の山々から吐き出した水を押し流して、さしもの広い相模川の河原を山すず濁波で押し込んでしまった。木の香も新しい大邸宅の大広間に端座し、素晴らしいケヤキの大黒柱を背負って大きな長火鉢のふちをなまなま身をかためて河へ堤へと急ぎ足に過ぎ行く百姓ばらの姿を眺めながら、



「事がなければよいがな」と、サザツと呟きつける豪雨の音に耳を傾けていた。中略、世の中は何となく血生臭い。今にも事が起るぞ、と予感していた彦三郎は、火山が爆発する前の鳴動にも比すべき水の災禍が、ますます迫る目前に迫り来たのをみて愕然とした。

見れば猛突く豪雨をついて、川のほとりへ馳せてゆく。者の姿が増してくる。そして、「堤が切れるぞ」という声があつて、さして、と雷引き締め、立ち上がったその耳元に、鳴り響く村社お諏訪様の早鐘。名主としての重責を帯びる彦三郎は、腰に一刀たばさんで豪雨の中に走り出た。「それ杭を打て、それ土のうを積み、と、まさに濁流に呑まれようとする堤防の上に立つて、立ち騒ぐ村人を指揮する彦三郎の雄姿に恐れをなしたか、ひたひたと押し寄せたその水

のただ中に、さんぽとはかり転落した。あれよあれよという間にその姿は水に没してしまつたが、奇跡でも言うか、この男は水面僅かに頭を出していた竹やがの間に流れ込み、竹の梢にしがみついて、からくも命をつなぎとめた。助け舟で屋敷にたどりついた彦三郎は、つい先ほど端座して煙草をくゆらしていた大広間の天井近く押し寄せた水のすさまじさに仰天していた。幸いに、家の子のすては二階の女中部屋に難を避けていたが、これはまたどうしようもない。この時、彦三郎は、前代未聞の事だ、と、その雄姿を玉の如き男子を生み落とす時、